



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 情報・宣伝部  
2023年1月20日 No.564

## 第10回中央委員会 活動方針（案）第一次草案 職場討議資料

私たちJR東日本労働組合（東日本ユニオン）は2月8日に、東京都・田町交通ビル大ホールで「第10回中央委員会」を開催します。今中央委員会では「第11回定期大会」以降の取り組みを振り返り、組織強化・拡大を実現してきた成果を確認するとともに、2023春闘要求の実現にむけた闘いに全組合員で決起します。

「第10回中央委員会」の成功にむけた真摯な討論と、職場討議を要請します。

### 第10回中央委員会 スローガン（案）

#### <メインスローガン>

JR労働者が働きがいを得るJR東日本と安心を得る社会をつくろう！

#### <サブスローガン>

1. 職場にひそむ危険の抽出と問題解決を通して、すべてのJR労働者の死亡事故・重大労災事故を撲滅しよう！
1. あらゆる労働条件・労働環境を総点検し、働きやすい職場をつくろう！
1. JR東日本の発展に寄与する労働組合として、チェック機能を発揮しよう！
1. 2023春闘をすべてのJR労働者と共闘・連帯し、闘おう！
1. 平和憲法と民主主義を守るために、すべての労働者と連帯しよう！
1. 全組合員参加の労働組合運動を通して、組織強化・拡大に取り組もう！



## I はじめに

日頃より東日本ユニオンの活動へのご理解、ご協力とともに、昼夜を問わず「安全・安定輸送」に従事されているすべてのJR労働者に感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行するなど、より注意が必要となっています。私たちは職場の仲間やご家族、地域のみなさんのご理解とご協力のもと「第10回中央委員会」が開催されることを忘れてはなりません。ゆえに今中央委員会がより安全に開催されることを強く要請いたします。

私たち東日本ユニオンは結成以来、理念でもある「JR労働運動の一元化」をめざし、幾多の困難や試練も組合員の英知と団結力をもって乗り越え克服してきました。10月15日には新たな創造にむけて、東北地方本部と関東地方本部を結成しました。さらに「第11回定期大会」以降、組織拡大を実現してきました。全組合員で精力的に取り組んだ成果です。さらに組織を強化し、組織拡大の取り組みを推し進めていきます。

2022年度年末手当は「年間最低6.0ヶ月水準に戻す」という強い決意をもって「3.7ヶ月要求」を確立し、闘ってきました。残念ながら会社回答は「2.4ヶ月+2万円」という悔しい結果となりましたが、私たち東日本ユニオンは統一した取り組みとして労働組合未加入の社員と他労組組合員の「声」を集めることに挑戦し、寄せられたすべての声の大きな力となりました。作りだした成果をさらにのばし、課題を克服していく運動を継続的に進めていきます。

2023 春闘では「年功制の賃金体系」「定年雇用制の確保」と「賃金引上げ」をめざします。私たちは 2021 春闘で削られた 2 係数を忘れていません。J R 東日本の今年度の業績は、このまま順調に推移すれば黒字化を実現できる見通しです。黒字業績を背景に「削られた 2 係数相当分」を今 2023 春闘で取り戻していきます。

物価の上昇は家計を直撃し、賃金が物価の上昇に追い付いていない状況です。私たちの要求実現には組織拡大が必須であり、J R 東日本グループで働くすべての J R 労働者のさらなる団結が不可欠です。2022 年度年末手当の取り組みで培った組織力と行動力を 2023 春闘につなげ、春闘要求と組織拡大を実現するために、さらに挑戦していきます。

会社施策の問題や課題なども明らかになっています。J R 労働者の利益を守るために施策と向き合い、改善にむけて地方本部との連携をさらに強化していきます。

今中央委員会では「春闘要求」と「組織拡大の実現」を勝ちとる「2023 春闘総決起の場」としても位置づけます。これまでの取り組みの総括とともに、東日本ユニオンのさらなる団結強化と組織拡大の実現にむけて、中央委員の活発な発言で、より豊富化した第 10 回中央委員会になるよう要請いたします。

## II 主な活動報告について ※略

## III 情勢の特徴 ※略

## IV 当面する活動の展開について

### 1. 2023 春闘の取り組み

#### (1) 東日本ユニオンの基本的な考え方

##### ①要求の骨子

今 2023 春闘では定期昇給の完全実施を求め、年功制の賃金体系と定年雇用制を確認するとともに、削られた「2 係数相当分」を取り戻していきます。

社員一人ひとり苦悩しながらも新たな働き方を担い、生産性を向上させ、会社を持続的に成長させています。同時に物価高騰の嵐の中、社員とその家族の生活は、もはや限界を迎えようとしています。生産性向上分と社員の生活向上分などを踏まえてベースアップを求めています。また、エルダー社員の基本賃金への加算を求めています。

この間、私たち東日本ユニオンは「第二基本給は使命を終えた」と繰り返し主張し「第二基本給の廃止」を求めてきました。退職金を抑制する第二基本給は存在したままです。直ちに廃止することを求めています。

##### ②2023 春闘の取り組み

私たち東日本ユニオンは「2022 年度年末手当の取り組み」で、労働組合未加入の社員、他労組組合員から「声を集める」ことに挑戦しました。この挑戦を通じて「組織強化・拡大」という大きな成果を勝ちとってきました。そして何より、各地から届いた東日本ユニオンを応援する声は、団体交渉をはじめ私たちが取り組みを進めていく上で大きな力となりました。

2021 春闘で削られた「2 係数」を取り戻し、定年退職まで安心して安定した生活を実現するためには、東日本ユニオン組織の強化だけにとどまることなく、東日本ユニオンに結集させていく「組織拡大の実現」が必要不可欠です。

各機関で「組織拡大にむけた取り組み」と「2022 年度年末手当の取り組み」でつくりだした成果を「2023 春闘の取り組み」につなげ「要求の実現」と「組織拡大の実現」にむけて、全組合員で統一行動を展開していきます。

## IV 当面する活動の展開について

### 2. 組織強化・拡大の取り組み

- ・職場諸問題や業務課題の克服を通じ、組織強化・拡大をめざします。
- ・他労組組合員や労働組合未加入の社員との「JR労働運動の大同団結・一元化」の実現にむけて、あらゆる取り組みを進めます。

### 3. 安全の確立にむけた取り組み

- ・労働組合として「すべてのJR労働者の死亡事故・重大労災事故ゼロ」をめざすことを柱に、職場の「事故の芽」を摘出し、死傷事故を起こさせない労働環境と職場風土をつくりだします。

### 4. 労働条件の維持・改善・向上にむけた取り組み

- ・「労働条件に関する協約」の改訂に継続して取り組みます。
- ・経営施策や各制度について「安全」「健康」「働きがい」「サービス」の視点から検証し、JR労働者としてのあるべき施策とするための要求・提言に取り組みます。
- ・安心感と働きがいのある「エルダー社員制度」の運用を求めて取り組みをつくりだします。

### 5. 情報・宣伝活動の取り組み

- ・「東日本ユニオンNEWS」をタイムリーに発行します。
- ・ホームページを閲覧してもらう取り組みをさらに推し進めるとともに、スピーディーかつ、効果的な情報発信、見やすさと内容の充実に努めます。

### 6. レク・サークル活動の取り組み

- ・今年度も社会情勢などを踏まえて判断していきます。

### 7. 政治活動の取り組み

- ・平和と民主主義を基調として、中央、地方における従来からの信頼関係をもとに「平和で安心できる生活」と「交通政策課題の解決」をめざして政治活動に取り組みます。
- ・「第20回統一地方選挙」においては、地方における推薦候補者の必勝にむけて取り組みます。

### 8. 組合員の福利・厚生 of 充実にむけた取り組み

#### (1) 交運共済

- ・「こくみん共済COOP」の契約移転（事業移管）に関する協議を進めます。

#### (2) ふれあい共済

- ・東日本ユニオン独自の組合員福祉共済制度である「ふれあい共済制度」へのさらなる加入（配偶者を含む）をめざし、2023年7月以降「2024年1月更新」の新規および継続加入の取り組みを行います。

#### (3) 労働金庫

- ・働く者の金融機関として、労働金庫の利用を促進します。

## V 当面の組織運営について

- ・第12回定期大会を2023年7月に開催します。

# 全組合員ので成功させよう！